

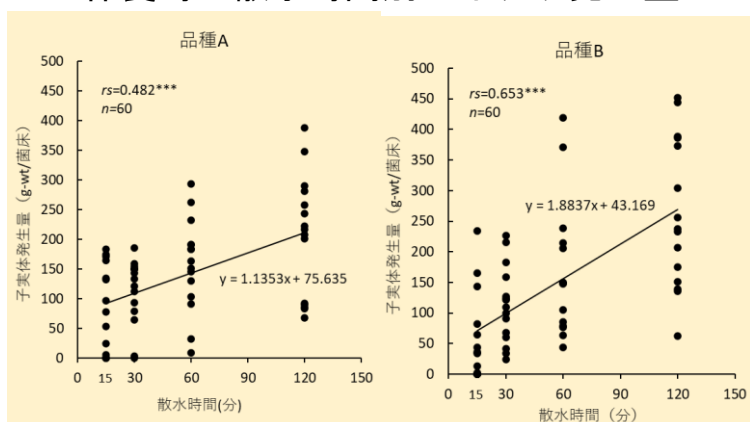
# 菌床シイタケの休養時の散水と発生量

研究課題名：菌床シイタケ栽培等における安定生産技術の開発

(平成30～令和3年)

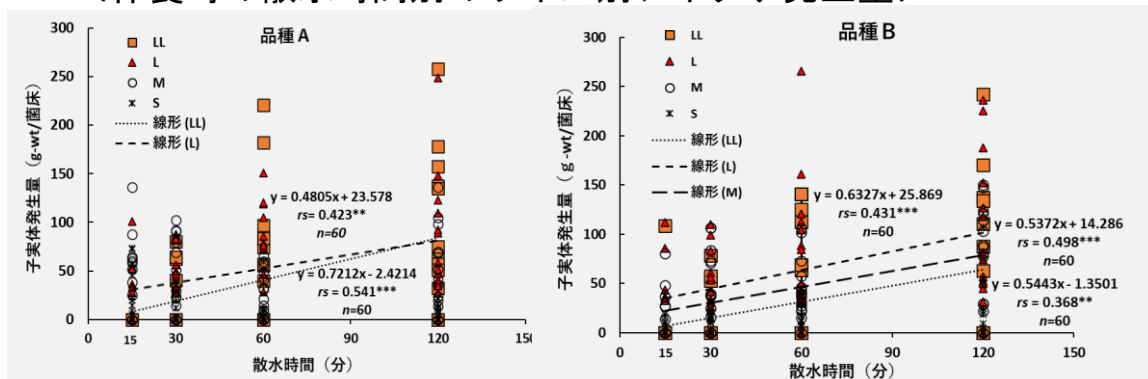
菌床栽培において、2回目以降の発生に備える休養時の散水条件を変えて、その後のシイタケの発生量を調査しました。休養時の散水時間が長くなるほどサイズの大きいシイタケの発生量が多くなり、シイタケ発生量は増加する傾向がありました。

## ＜休養時の散水時間別シイタケ発生量＞



- ・ 散水量0.4ℓ/分のミスト散水ヘッドを使用して、休養時に散水しました。
- ・ 休養後の2～3回目シイタケ発生量の合計は、散水時間との間に有意な正の相関がありました。
- ・ 毎日120分までの散水では、休養時の散水時間が長いほどシイタケ発生量は多くなる傾向がありました。

## ＜休養時の散水時間別のサイズ別シイタケ発生量＞



- ・ サイズ別の2～3回目のシイタケ発生量の合計を示しています。
- ・ 品種Aでは散水時間とLL及びL規格の発生量との間、品種Bでは散水時間とLL、L及びM規格の発生量との間に有意な正の相関がありました。
- ・ 休養時の散水時間が長くなるほどサイズの大きなシイタケの発生量が多くなる傾向がありました。
- ・ 品種により散水による反応は異なります。過剰な散水に注意して、品種毎の特性を把握する必要があります。

【静岡県農林技術研究所（森林・林業研究センター） 森林資源利用科】  
TEL 053-583-3121 e-mail FFPRI@pref.shizuoka.lg.jp